

小さな拠点税制の活用事例（長野県豊丘村） ～道の駅を核とした小さな拠点～

- 道の駅を核として「小さな拠点」を整備し、地域住民が安心して暮らすために必要な生活サービス機能を集約・確保するとともに、「小さな拠点」と集落を結ぶ交通ネットワークを形成し、交通弱者への支援に一体的に取り組む。
- 「小さな拠点」の運営については、村や住民が出資する株式会社が行い、施設の管理運営、地域特産物の販売、地域資源を活用した商品開発、イベントや各種体験講座等の企画運営などを行う。

小さな拠点税制の活用



株式会社豊かな丘

※平成29年12月設立

出資



村、個人出資者（豊丘村民等）

コミュニティビジネス

（地域の雇用創出、生活サービスの提供）

小さな拠点（道の駅）の管理運営を株式会社が実施

- 公共施設の維持管理運営等の受託
- スーパー誘致、農畜産物、林産物、加工品等の地域特産物の販売
- 農家レストランの運営
- 観光土産品の企画、製造及び販売
- イベント、各種体験講座等の企画及び運営

周辺図



地域再生計画の概要

平成29年2月
地域再生計画認定

● 地域再生計画の名称

道の駅を核とした小さな拠点整備計画

● 活用した支援措置

① 小さな拠点の形成に資する事業を行う株式会社に対する投資促進税制（小さな拠点税制）

株式会社が小さな拠点（道の駅）の管理運営を行う。

② 地方創生拠点整備交付金

道の駅施設のうち、コミュニティスペースや日用食料品販売店舗、行政情報コーナー等の建設等。

● 主な数値目標（KPI）

- 商業施設売上額：
0円（H28）→659,400千円（H32）
- 直売所において年間50万円以上の売上有る農業従事者数：
0人（H28）→192人（H32）
- 村営バス年間利用者数の割合：
87.6%（H28）→90.0%（H32）

スケジュール

H29.12会社設立、H30.3増資（税制適用）、H30.4道の駅オープン

期待される効果

- 新たな雇用の創出（約50人を雇用）とともに、農業従事者の販路が拡大し、所得が向上
- 村内唯一のスーパーの運営とともに、「小さな拠点」と全集落をコミュニティバスで結ぶことで、住民の利便性が向上
- 緑地広場やコミュニティスペースを充実させ、各種イベントの開催により、住民の交流の場を創出